

「図書館を使った調べる学習コンクール」にチャレンジしよう！

## 調べる学習の進め方とまとめ方のポイント

荒川区教育センター 学校図書館支援室

☆調べる学習チャレンジ講座に応募したみなさん、調べる学習に取り組んで、夏の素敵な思い出をつくってください。調べる学習の進め方やそのまとめ方についてのヒントをお伝えします。自分の力で進めていくときに使ってください。みなさんの学習を応援しています！

- ♡ たのしくすすめよう！
- ♡ あきらめずにすすめよう！
- ♡ まわりの人たちにそうだしながらすすめよう！

### 調べる学習はこんなふうに進めよう

☆調べる学習をスタートするのに用意しておく便利なもの

- クリヤーファイル、ポケットファイル、ノート、大きめのふうとうなど  
 どんどん進んでいく学習の記録やメモ、調べた情報カード、写真や資料がばらばらにならないように、しっかりまとめてとっておける（保管）ものがあると、いいですよ。
- メモカード（百均ショップなどにもあります）  
 調べた情報を書いておくものです。ノートでもいいですが、カードのほうが選んだり並べたりできて便利です
- A4ポケットファイルまたは八つ切りサイズのスケッチブック  
 調べたことを作品にまとめて出品する時に便利です。  
 ポケットファイルは中身を入れかえられるので、後から内容を変えたい、増やしたい、順番を変えたいと思った時でも、やり直しがしやすいです。  
 スケッチブックはしっかりした紙でできているので、はり付けたい資料がたくさんある時には、台紙の役割をして便利です。  
 ※作品のきまりで、50ページまでとなっていますので、ポケットの数や、ページ数を考えて用意するといいですね。

なにを用意するかは、まわりの大人の人に相談しましょう。

### ☆調べる学習の進め方

NO	ステップ	自分で進めること	アドバイス
1	テーマをきめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の好きなことやふしぎだな、なぜかなと思うこと、解決したいことなどを思いうかべて、言葉でたくさん書き出してみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 白い紙やノートを使って時間をかけて、しっかり考えよう。</li> <li>• 実は、調べる学習の中で</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>• もし、書いた言葉の中で関係がありそうなものがあたら、線ですらないでみよう</li> <li>• いちばん調べてみたいことがらや、テーマ、疑問をえらんで赤えんぴつなどではっきりしるしをつけよう</li> </ul> <p>調べたいことを質問の言葉を使って文にしてみましょう</p> <p>質問の言葉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いつ？だれが？どこで？          どのぐらい？（いくつ？）          どんなふうになぜ？          ～ってなに？          ～ってほんとうかな？          ～のためにひつような～は？</p> </div> <p>などの言葉をつけて、調べることを文に書き、はっきりさせておこう。</p>	<p>最も大切なこと。あまり興味がないことや、そんなにすきでないこと、困っていないことを選んでしまうと、うまくいかない。本当に調べたいことは何かよく考えて決めよう。</p>
2	えらんだ理由を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 調べようと思ったきっかけを文で書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すき、きれい、困っているわけ</li> <li>• 出会ったときの気持ちや思ったこと</li> <li>• 不思議だなと思ったわけ</li> <li>• びっくりした、感動したときのこと</li> <li>• なぜ調べたいと思ったのかを、くわしくていねいに書きましょう</li> <li>• 気持ちだけではなく、今まで体験したことなどを入れて書くと読む人によ</li> </ul>

			<p>つた く伝わる。 さいご 最後のふりかえりをする ときにも役だつ。</p>
3	<p>じぶん いけん よそう 自分の意見や予想を 書く</p>	<p>•なにを調べるのかをはっきり文で書いてみよう（調べたいことはまずは3つぐらいにしぼろう）</p> <p>•調べることについて、自分が考えた予想したりすることを書いておこう</p> <p>•どんな調べ方があるか、できそうかまわりの大人にも相談しておこう（研究計画の準備）</p>	<p>•調べることについての、予想や考え、その理由も、書いておこう</p> <p>•「なんとなく」ではなく今までに自分が見たことや感じたこと、知っているなど体験をもとにして書こう。</p>
4	<p>しら かつ き 調べ方を決める (研究計画を立てる)</p>	<p>•調べることがらによって、どんな調べ方が合っているか考えて計画を立てよう</p> <p>1 <b>本などの資料で調べる</b> しんぶん ざっし 新聞・雑誌・パンフレット・ポスターなども使おう</p> <p>2 インターネットを使う</p> <p>•キーワードで調べる</p> <p>•メールなどで質問する</p> <p>3 人に聞く（インタビュー）</p> <p>4 アンケートをとる</p> <p>5 実験・観察する</p> <p>※写真や動画、メモで記録をとっておく</p> <p>6 体験する・自分で作ってみる げんち い ちょうさ しゆざい 現地に行って、調査・取材する</p> <p>7 実物を見学する はくぶつかん びじゆつかん しりょうかん どうぶつえん (博物館・美術館・資料館・動物園・水族館・工場など)</p>	<p>•<b>コンクールに応募する場合は、必ず本を利用すること。</b></p> <p>•予約が必要なところもあるので、よく調べよう。 ※事前に問い合わせると、質問に答えてくれる場合も</p>

5	<p>しら 調べる</p> <p>しら 調べるために使う本</p> <p>は ていがくねん 低学年は3さつ ちゅうがくねんじょう 中学年以上は 5さつぐらいは用意しよう</p> <p>いろいろな方法で調べよう</p>	<p>1 本や資料で調べる けんきゅうけいかく も としょかん い •研究計画メモを持って図書館に行く (もちろん学校図書館でもOK)</p> <p>•必要な本を自分で探してみる</p> <p>•司書さん(司書の先生)に相談する</p> <p>•困ったときはまずは百科事典を調べてみよう</p> <p>•文章を見つけたら、大事なことを選んで情報カードに書きぬく</p> <p>•調べたいことからよっては、<b>凶鑑</b>や<b>学習年鑑</b>も使おう</p> <p>•もっとくわしくのっている本も探して調べる</p> <p>•自分の予想したこととの違いや同じだったことも書く</p> <p>•1つの調べたいこと(質問)については、2さつ以上の本で調べよう</p> <p>•調べるだけでなく、本から分かったこと、気づいたこと、もっと知りたくなったこと、疑問などもメモに書いておく(考察に使える)</p> <p>•新聞記事やパンフレットからも情報を探してみよう</p> <p>•使った本や新聞の情報を記録する</p> <p><b>出典といえます</b></p> <p>★本の情報カードに書くこと</p> <p>① 調べた本の名前</p> <p>② 書いた人 ちよしゃ さくしゃ ぶん さくへんしゅうしゃ かんしゅう 著者・作者・文・作編集者、監修 など</p> <p>③ 出版社 しゅつばんしゃ</p> <p>④ 出版年 しゅつばんねん</p>	<p>•「〇〇の本はありますか」ではなく、「〇〇の△△についての本をさがしています」などなるべく知りたいことをはっきり伝えて相談しよう。</p> <p>•百科事典はあいうえお順にのっています。</p> <p>•凶鑑で調べるときは、目次と索引から</p> <p>•それぞれの本に書いてあることがちがっていたら、そこから新しい？が生まれるかも。</p> <p>•本のページの複写は、必要なところだけ。</p> <p>•もっと知りたいことが生まれたら、新しく疑問を立ててよりくわしく調べていこう。</p> <p>•パンフレットやポスターなどでもらえる資料があったら、関係する人にことわってもらおう。</p> <p>※使った本の情報は忘れずに記録しよう。</p> <p>•自分の考えの元になる情報となる。最後には資料リストにのせる。</p>
---	--	--	--

	<p>おくづけ いちばんうし み か  <b>※奥付（本の一番後ろ）を見て書く</b></p> <p>⑤ のっていたページ</p> <p>としょかん か せいきゅうきごう      ⑥ 図書館で借りた本は請求記号      （本の背表紙にはあってあるラベルに書いてある記号）</p> <p>りよう としょかん なまえ か  <b>※利用した図書館の名前も書いておく</b></p> <p>しんぶん じょうほう か  <b>★新聞の情報カードに書くこと</b></p> <p>しんぶん なまえ      ①新聞の名前</p> <p>ねんがっぴ ちょうかん ゆうかん      ②のっていた年月日・朝刊、夕刊</p> <p>③ページ</p> <p>ちほうばん      ④どこの地方版なのか</p> <p>す しんぶん いちばんうえ す ちい      ⑤刷り→新聞の一番上に○刷りと小さく出ている</p> <p>★パンフレットなど</p> <p>なまえ      ①パンフレットの名前</p> <p>はっこう      ②発行しているところ</p> <p>はっこうねんがっぴ わ      ③発行年月日（分かれば）</p> <p>2 インターネットを使って調べる      しんらい み しら      信頼できるサイトを見よう。</p> <p>(例)</p> <p>あらかわくりつととしょかん      ・荒川区立図書館子どもひろばリンク集</p> <p>とりつととしょかん      ・都立図書館こどもページ</p> <p>こくさい としょかん      ・国際子ども図書館キッズページ</p> <p>けんさく      などから、検索してみよう</p> <p>じょうほう りよう きろく  <b>★情報を利用するときは記録すること</b></p> <p>はっしんもと さくせいしゃ      ① 発信元（作成者）</p> <p>② Web（ウェブ）ページ名</p> <p>③ Web（ウェブ）サイト名</p> <p>④ URL（ユーアールエル）</p>	<p>きろく      ・ページを記録しておくともう一度調べたいときに、すぐ探せる。</p> <p>おな ひ おな ちほう  <b>※同じ日の同じ地方のもので紙面が違うものがある。</b></p> <p>つか しら      ・インターネットのサイトは、国の機関や公的（都、県、市など）機関が子ども向けに開いているものがある。</p>
--	--	---

	<p>こうしんねんがっぴ      ⑤ 更新年月日</p> <p>しら ねんがっぴ      ⑥ 調べた年月日</p> <p>（例）ツバメってどんな鳥</p> <p>こうえきざいだんほうじんに ほんやちよう かい      ①公益財団法人日本野鳥の会</p> <p>②ツバメってどんな鳥</p> <p>③消えゆくツバメをまもろう</p> <p>④<a href="https://www.wbsj.org/activity/conservation/research-study/tsubame/whatis/">https://www.wbsj.org/activity/conservation/research-study/tsubame/whatis/</a></p> <p>⑤2021.3.29</p> <p>⑥2021.6.16</p> <p>ひと き      3 人に聞く（インタビュー）</p> <p>あ き      ・会って聞く</p> <p>ろくおん  <b>※録音させてもらおうとよい</b></p> <p>てがみ だ      ・手紙を出してたずねる</p> <p>へんしんようふうとう きって わす  <b>※返信用封筒と切手をお忘れなく</b></p> <p>・ZOOM（ズーム）などを使う</p> <p>・ラジオ番組などで質問して、専門家の人に聞く</p> <p>4 アンケートをとる</p> <p>しら      ・調べたいことが分かるためにはどんな質問をするのか考える</p> <p>こた えら      ・答えは選んでもらう？</p> <p>ぶん か      ・文で書いてもらう？</p> <p>ひと きょうりょく      ・どんな人に協力してもらうのか</p> <p>なんにん ねが      ・何人ぐらいにお願いするのか</p> <p>じっけん かんさつ      5 実験・観察する</p> <p>じっけん いじょう      ・実験では、2つ以上のことから調べるときは、条件のそろえ方、変え方に注意する。</p> <p>かんさつ かなら しら ひづけ か      ・観察は必ず調べた日付を書く</p>	<p>もの ろくおん さつえい      ・人や物を録音、撮影するときは、必ず相手の人に許可をとる。</p> <p>きょうりょく ひと      ・協力してくれる人がいるときは、前もって連絡をきちんと取り、マナーを守って取材しよう。</p> <p>しつもん      ・アンケートには質問だけではなく、調べていることや、知りたいことについて書き、協力してくれる人に説明しよう。</p> <p>まえ けいかく じゅんび      ・前もっての計画や準備が成功の鍵。</p> <p>あんぜん すず      ・安全に進められるようおとな そうだん      大人に相談しておこう</p>
--	---	---

	<p>かんさつ ばあい まいにちおなじ  <b>・観察をつづける場合は、毎日同じ時</b>  <b>こくに調べる</b>  いきもの しょくぶつ ようす しゃしん  <b>・生き物、植物の様子などは写真にと</b>  <b>るだけでなく、ていねいにスケッチ</b>  <b>するとよい</b>  <b>・気づいたことは、くわしくメモに書</b>  <b>く。新しい疑問が生まれるかも</b>  ひょう しょうい しゃしん  <b>・表などを用意し、データと写真など</b>  <b>で記録を正確に取ろう</b></p> <p>6 <b>体験する・自分で作ってみる</b>  げんち い ちょうさ しゅざい  <b>現地に行って、調査・取材する</b>  しゃしん どうが きろく  <b>・写真、動画、メモなどで記録をてい</b>  <b>ねいに取っておこう</b></p> <p>ほんもの み  <b>7本物を見る</b>  はくぶつかん びじゅつかん どうぶつえん すいそくかん  <b>博物館・美術館・動物園・水族館・</b>  たてらんかい しりょうかん ほんもの  <b>その他展示会や資料館などで本物を</b>  <b>見る</b></p>	<p>たいけん じゅんぴ よやく  <b>・体験には準備や予約が必</b>  <b>要なことも、時間がかか</b>  <b>ることもある。できるが</b>  <b>どうか、安全かなど、</b>  おとな そうだん とく  <b>大人に相談して取り組</b>  <b>もう。</b>  とく しょうす  <b>・取り組んでいる様子を</b>  しゃしん どうが ろくおん  <b>写真や動画、録音などで</b>  きろく あと  <b>記録しておくこと、後でま</b>  <b>とめやふりかえりの役</b>  <b>に立つ。</b></p> <p>ほんもの じっさい  <b>・本物を見ること、実際に</b>  たいけん しゃしん  <b>体験することは、調べる</b>  かつどう おお ちから  <b>活動では大きな力にな</b>  <b>る。新しい疑問が生ま</b>  <b>れることも。</b>  しゃしん きろく と  <b>・写真など記録を取ってい</b>  <b>いか、係の人に許可を</b>  <b>とる。</b>  ほんもの み  <b>・どうしても本物が見られ</b>  <b>ないときはそれぞれの</b>  こうきょうせつ  <b>公共施設のもつデジタ</b>  <b>ルアーカイブスを利用</b></p>
--	--	---

		<p>13調べる活動が終わったら、集めた  カードや写真、データを全部並べ  て、整理したり、順番に並べたり  して、そこから分かったこと、考  えたことを文に書いておく。  (まとめの準備)</p> <p>6 <b>調べて分かったこと</b>  <b>を見やすくまとめる</b></p> <p>しゃしん せつめい ぶん かんが  <b>・調べたことを説明する文を考</b>  <b>えて</b>  <b>書く</b>  ★調べて分かった情報をメモやカー  ドなどをもとに書く。  ★使う写真や図、スケッチを選んだ  り、はる順番に並べたりする  ※本、ネット、パンフレット、新聞な  どからの情報を使う時には  かなら しょうほう しゅってん しゃしん  <b>必ず情報のそばに、出典と写真・</b>  <b>図の説明を(キャプション)を書き</b>  <b>ましょう</b></p> <p>しゃしん かみ す ひょう  ※写真やほかの紙にかいた図や表を  はるときは、はがれないようにしっ  かりはること。(スティックのりは  とく ちゅうい  <b>特に注意)</b></p> <p>★データをもとに表やグラフをかき  または使いたい表やグラフを準備  する</p>	<p>することもできる。</p> <p>※調べて分かったこと  実験・観察したことから、また疑問やもっとく  わしく知りたくなった  ことが見つかったら、  あきらめしないで、調べて  みよう。  きっと、もっとおもしろ  い、びっくりする発見が  まっていますよ。レッツ・  チャレンジ!</p> <p>じぶん はっけん しゃしん  <b>・自分の発見や、調べたこ</b>  <b>とがよく伝わるように、</b>  ひつよう しょうほう えら  <b>必要な情報を選んだ</b>  <b>り、書く順番を考えた</b>  <b>りしよう。</b>  たいせつ ことば ぶん  <b>大切な言葉や文にはラ</b>  <b>インを引いたり自立つ</b>  <b>いにしたりして、伝わり</b>  <b>やすい工夫をしよう。</b>  す しかん  <b>・図やグラフなどは図鑑や</b>  <b>インターネットにのっ</b>  <b>ているものを気軽にコ</b>  <b>ピーして使わない。特に</b>  す じぶん  <b>図はできるだけ自分の</b>  <b>力で描いたり写したり</b>  <b>しよう。</b></p> <p>ひょう ひょうだい  <b>・表には表題とそれぞれ</b>  <b>の単位を忘れずに</b>  <b>・グラフは伝えたいことが</b></p>
--	--	--	--

		<p>★<b>分かったことをまとめて書く</b> 調べてきたことをふりかえって、分かったことを整理して短い文にまとめる。 かじょう書きをつかってみよう</p> <p>・自分が調べて分かったことや考えたことが伝わるものになったか確認する。</p>	<p>つた だてしく 伝わるように、縦軸のメモリの大きさや単位を工夫しよう。</p> <p>・まわりの人にも見てもらって分かりやすくなっているかチェックしてもらおう。 (いったん、ポケットファイルなどに入れてみると、よく分かる)</p>
7	ふりかえる	<p>・<b>考察（考えたこと）を書く</b> ★予想は当たっていましたか？その理由は？ ★始めに知りたかったことは、わかりましたか？ ★調べる前と後で、考えや行動やものの見方が変わったことは？それはなぜ？ ★つづきがあればやってみたいこと、調べてみたいことは？</p> <p>・<b>感想を書く</b> 調べる活動の中で楽しかったこと、大変だったこと、感謝していることなどを、どんな時に感じたのかエピソードも入れて書く。 ・調べている中で心に残ったエピソードは？</p>	<p>・作品の中でとても大切なところ。つかれていると思いますが、もうひとがんばりです！ ・予想や調べようと思ったきっかけや理由と、ふりかえりや考えたことがつながっているかな？</p> <p>・感想の残念な例 すごくがんばった すごく大変だった 楽しかった おもしろかった →なにをしたとき？ どんなことが？ →特に心に残っているエピソードは？ ・考察と感想は同じではありません。分からないときは、一回、文章に書き</p>

			<p>だ 出して、どちらに当てはまるか整理してみよう。</p>
8	<p>ほん 本のように作ってあげる（製本）</p> <p>できあがり！ さいごまでよくがんばりました。</p>	<p>★<b>作品のタイトルをつける</b> ・タイトルは顔。調べて強く思ったことを入れて、他の人が「見たい！読みたい！」と思うような言葉でつけよう</p> <p>★<b>表紙を作る</b> ・イラストや写真などもくわえて、すてきに仕上げよう。</p> <p>★<b>大きな台紙（画用紙など、コンクール出品の場合は B4 または八つ切りサイズまで）に順番に張ったり、書いたりして、調べたことを見やすくまとめる</b> ・A4 のポケットファイルを利用して書いたレポートをポケットに入れていくのもよい方法です。</p> <p>内容の順番は 1 タイトル（表紙） 2 目次 ・3より後ろの内容には忘れずにページ番号を書こう（50 ページまで） 3 調べるテーマ・疑問について 4 調べようと思ったきっかけやわけ 5 自分の予想（仮説） 6 調べた方法について 7 調べて分かったこと 8 考察 9 感想</p>	<p>※「～について」は※</p> <p>※ビーズや木の実などでこぼこするものはとれやすいので、はらない。</p>

	<p>さんこうしりょう 10参考資料リスト</p> <p>じょうほう でばん ・情報カードの出番です</p> <p>つか しんぶん メモしておいた使った本、新聞、</p> <p>ざっし 雑誌、パンフレット、サイトなどの</p> <p>きろく きょうりょく ひと 記録・協力してもらった人なども</p> <p>か 書こう</p>	<p>としょかんしんこうざいだん しら ※ 図書館振興財団の調べ</p> <p>がくしゅう る学習コンクールホー</p> <p>ムページにもリストの</p> <p>もと 元がのっています</p>
--	---	---

だいたいこんなふうにできあがればOKです！

1	ひょうし 表紙・タイトル	どんなことについて調べたかがよく分かり、自分がいちばん伝えたいことをタイトルにしてみましょう。
2	もくじ	どのページに何が書いてあるのか、ここを見ただけでだいたいの内容が分かるようにしましょう。
3	はじめに (調べたきっかけ)	なぜテーマに興味をもったのか、どんな疑問をもって調べ始めたのかを書きましょう。できるだけ、身近なエピソードも交えて、ていねいにたくさん書けるといいですね。
4	ほんぶん 本文1	「何について調べたかや予想」 ※なぜそのような予想を立てたのかの理由も、自分の今までの体験から書けるといいですね。 「どのような方法で調べたか」を書きます。 ※実験や観察、見学など様子を伝えたいときは、図や絵、写真もそえましょう。
5	ほんぶん 本文2	「調べて何が分かったか」を書きます。 ※グラフや図、絵、写真など目で見てよく分かり、アピールするようにします。出典を忘れずに！ 大事なところは文字の色や大きさを変わるとよく伝わります。
6	まとめ (考察・感想)	「(予想と比べて)考えたこと」を書きます。 ※資料や情報をもとにして、自分の考えが広がったり変わったたりしたことを文章に書いて伝えましょう。 「活動して感じたこと」も書きましょう。
7	さんこうしりょう 参考資料リスト	調べるときに使った本、Web サイト、新聞、人、場所などについて題名や名前を書きます。

ほごしや  
保護者の方へ

～調べる学習コンクールの応募形式について～

- サイズ 小学生 B4 サイズまで (八つ切りサイズも可、A4 の可)  
中学生 A4 サイズまで  
※模造紙等にまとめる場合は、上記サイズに折りたたむこと
- ページ数 本文 50 ページ以内  
表紙・目次・参考文献リストは含まない  
※パソコンで入力する場合は 11 ポイント以上、  
1 ページの文字数は 1000 文字を目安とする。
- 必ず書くこと 調べたときに利用した資料名 (出典) と図書館名など参考資料リスト

※参考資料リストはお子さんの成長に合わせ、保護者の方が記入していただいても、だいじょうぶです。

※こんな本もよいヒントになります。

「調べるって、おもしろい！！マンガでわかる小学生の調べる学習ガイド」  
公益財団法人図書館振興財団 監修 岩崎書店編集部 編著 岩崎書店  
「改訂版 調べ学習の基礎の基礎 だれでもできる赤木かんの魔法の図書館学」  
赤木かの子 著 ポプラ社

**じょうほうカード** ☆ だいじなことをえらんでかきうつそう  
 しらべたこと

---



---



---



---



---



---



---



---

書名（本のなまえ）	書いた人	<small>しゅつぱんしゃ</small> 出版社

**じょうほうカード** ☆ だいじなことをえらんでかきうつそう  
 しらべたこと      しらべた日      月      日

---



---



---



---



---



---



---



---

Web ページ名	Web サイト名	<small>だんたい</small> 作った人・団体
URL		<small>こうしんねんがっぴ</small> 更新年月日